



吉田 稔 筆

平成30年1月 No.124

● 編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域



廣幡八幡宮での浦安の舞

写真撮影 巾 康友

あけまして

おめでとうございます

会長 伊藤 主夫

当ふる協は平成29年11月、「全国社会福祉協議会会長賞」を受賞しました。多世代交流コミュニティー「サロンつちのこ」「サロンますのこ」など、住民を巻き込んだ福祉の向上に取り組んだことを評価されてのことです。これもひとえに、地域の皆様の多大なるご支援と諸先輩方の地道な活動の賜物と深く感謝申し上げます。

今、ふる協活動への関心が少しずつ増えてきています。より関心を持っていただけるように「住み慣れた地域で、自分らしく暮らす」をモットーに活動を進めていきたいと思ひます。

私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

新柏二丁目第二自治会

新柏二丁目第二自治会



当自治会東側の入り口には4本の河津桜があり、毎年まだ寒さの残る中、濃いピンク色の可憐な花が出迎えてくれます。南西側は、新柏ヴィヴァンホームとヴィヴァン保育園があり、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

近頃のニュースは、隣接地への名戸ヶ谷病院の移転です。新柏駅からのアクセスがよくなるので、利

用者にとっては大変便利になります。もともと柏ゴルフ練習場があった場所で、約2年間の工期で解体、新築工事が行われています。当自治会としては、住民のこれまでと同じ平穏な生活を守るために、今後何をすべきかが最大の課題になると考えています。

会長 羽布津 真典

敬老のついで 台風情報の中 365名が参加

平成29年9月17日(日)、台風による降雨の中、土中中学校体育館において「敬老のついで」を開催しました。台風襲来の不安が残る中での強行実施となりましたが、365名の高齢者が参加してくださいました。

最初は「戦うオヤジの応援団」のフォークソングメドレー。1970年代のヒットソングは喝采を浴びました。

2番目は、土中中学校吹奏楽部生徒による演奏。最大の目玉は増尾地域のむかしばなしをベースにして作った音楽詩「鷺山のむじな」のお披露目です。作曲は、以前土中の教頭をなさっていた田嶋勉先生(現柏三中教頭)、作詞は酒井一憲先生(現布佐南小校長)。土小学校吹奏楽部合唱団とのコラボが予定されていましたが、台風のため残念ながら不参加となり実現はしませんでした。

最後は、柏南高等学校吹奏楽部による演奏です。定番となった美空ひばりメドレーなど土中とは一味違ったアクション付きの力強い演奏に拍手がやみません。

今回も土中中学校生徒の協力は、会場の設営、参加者への土産品の袋詰め、そして参加者のエスコートなど多岐にわたりました。

地区社協部 大江 幹



初披露の音楽詩「鷺山のむじな」を演じる土中生徒たち

見応えある彌惣治資料館

ちいき探検ウォーキング

平成29年11月26日(日)午前8時45分、増尾近隣センター前に集まったのは総勢92名の探検隊です。家族連れの中には、小学生10名やベビーカーに乗ったちびっ子たちもいました。

今回の「ちいき探検ウォーキング」は、名戸ヶ谷にある藪崎邸の彌惣治文庫文芸資料館、法林寺、増尾城址総合公園、萬福寺、きつね山を巡る約5kmの行程。彌惣治資料館では、市職員の高野博夫さんから大正の法然上人

と称えられた山崎弁栄、江戸時代後期の儒学者芳野金陵についての説明や歌人大町桂月などの掛軸の鑑賞をしました。興味深い資料が豊富な彌惣治資料館は歴史愛好家には、見学時間が短く物足りなく感じたかもしれません。

次は法林寺。樹齢約400年、市指定文化財の大イチョウを仰ぎ、増尾城址公園へと。小休止の後は本堂の改修工事中の萬福寺です。境内にはゴジラやピカチュウの置物があり、これには子どもたちもびっくり。次のきつね山では「柏ふる里つくり隊」の方に、幸谷城館跡の土塁、キンランとギンランの見ごろ時季、洋画家高島野十郎などの話を聞かせていただきました。ここでは、焼き芋、おにぎりがふるまわれ、子どもたちは大喜び。

今回、初めて参加した方は、「この地域に長く住んでいます却不知道なことだらけでした。参加して良かったです」と。これからも増尾地域のおもしろいところを紹介していきます。

文化体育部 高萩 郁勇

中高生対象講習会 命を救う応急手当

「人の命を救う事が自分にもできる」「初めてだったけど分かりやすい説明で楽しかった。これからも続けていきたい」「体育館は寒かったけど、ビデオの後の丁寧な説明で理解ができた」「救命に必要なすばやい判断と動作を心がけたい」修了証を手にした受講生の感想です。

平成29年10月28日(土)、増尾近隣センター体育室にて、東部消防署救急隊の方々を講師に救急救命講習会を実施。中学生12名、高校生1名、その中に大人2名が加わり受講しました。初めは助けを求める声がなかなか出せず「えっ何?」と聞き返されていた生徒も回数を重ねるうちに「あなたは119番通報をしてください」「あなたはAEDを持って来てください」としっかり手振りでも指示。生徒たちはあっという間に救命の手順を習得していきました。

防犯防災部 間宮 節子

ホタルの森を次の世代に

平成29年10月28日(土)、中原小学校下の増尾の森で「柏ホタルの会」主催の交流会が開催され、当ふる協や芝浦工業大学柏中学校などの協力団体から50名が集まりました。

芝浦工大柏中からは、科学部の部員17名が参加。ホタル見学会をきっかけに、ホタルの幼虫の飼育に取り組むことになり、ホタルの会の飼育担当者の説明に耳を傾けていました。

総務広報部

見る ☆ 遊ぶ ☆ 食べる

平成29年11月4日(土)と5日(日)、「地域ふれあいのつどい」「文化祭」「環境フェア2017パネル展」を開催しました。

「地域ふれあいのつどい」は11月4日一日だけの催しですが、会場の増尾近隣センター裏の駐車場はおもち、おでん、焼きそば、野菜などの販売に行列ができるほど。他にも福祉団体のお店、喫茶コーナー、ゲームコーナーなどもあり、大いににぎわいました。

「文化祭」は、4日・5日の2日間にわたり、会場の体

育室や会議室に一般応募の書、絵画、手工芸、生け花、写真、陶芸などの力作や近隣の生徒・児童の作品が展示されました。4日には、「増尾の歴史と彌惣治資料館」講座と「親子で作るクリスマスリース」講座が。5日には、柏南高等学校茶道部によるお茶会が開催され、お茶菓子が足りなくなるほど盛況でした。

「環境フェア2017パネル展」は、体育室の入り口に「緑のカーテンの写真」「地球温暖化問題」「特殊詐欺にご注意」など18枚のパネルを展示しました。



アカペラを歌う柏南高等学校合唱部ともちつき、販売、接客、撤収作業とフル活動の頼もしい助っ人、土中学校生徒たち（地域ふれあいのつどい）



作品を鑑賞するかたわら、作者の苦勞話に聞き入る来場者（文化祭）



振り込め詐欺NO、撲滅OK
（環境フェア2017パネル展）



お父さんと一緒に、楽しいね
（地域ふれあいのつどい）



「増尾ジェンヌの会」のハンドト
リートメントは今年も人気

健康管理の一助に 健康教室

平成29年9月24日(土)、運動日和の穏やかな日に増尾近隣センター体育室で健康教室を開催しました。

午前9時30分よりヨガ教室です。講師はベテランの石原由紀子先生。20名の参加者と文化体育部部員は身体をほぐすストレッチから始めました。「膝や腰など痛いところは無理をしないで」と先生の声。しかし先生が驚くほ

ど参加者の皆さんは次々にポーズを決めていきます。今年は今までになく充実したヨガ教室になりました。

午後は1時30分から太極拳教室でしたが、講師との連絡ミスにより開始が1時間遅くなってしまいました。講師を待つ間ラジオ体操などをして過ごし、2時30分から豊島実先生と2名の助手の型を見ながら、音楽に合わせて太極拳の基本の緩やかな動きを学びました。最後に大きな扇を使うしなやかな動きの太極拳を見せていただきました。
文化体育部 小林 みつえ

柏市で初めての ペット同行避難訓練



実際に犬を取り扱っての講演

東日本大震災・熊本地震では、常にペット避難が大きな問題になりました。新潟県中越地震の際には、小千谷市の避難所で犬と共に避難した女性が、「避難所ではペットと一緒に入所できない」という通達により、車内で犬と避難生活を送っていたところ、エコノミークラス症候群を発症し死亡するという事例がありました。

平成29年10月15日(日)、増尾近隣センターでは、市内全地域を対象として、増尾地域ふるさと協議会と共催で、柏市として初めての「ペット同行避難訓練(体験)事業」を開催しました。ペットと一緒に避難することを想定した避難訓練の体験と、千葉県動物保護管理協会の石田輝子獣医師による「ペットと避難する場合の準備と心構えについて」の講演を実施しました。

訓練当日は、あいにくの雨天でしたが、それでもペットと同伴の方、あるいは講演だけでも聞きたいという方が約50名参加して、実際にペットを使っている話を熱心に聞き入っていました。

訓練後のアンケートでは、ペットの受け入れ体制を整えてほしいという意見が多く、こうした意見は柏市に伝えてまいります。 増尾近隣センター所長 畔上 善昭

障がいへの理解を深める 地区懇談会

平成29年10月15日(日)、増尾近隣センターにおいて、「障がい者が地域で生活する」をテーマに地区社協部主催地区懇談会が開催され、柏市中心身障害者連絡福祉協議会や柏市社会福祉協議会、増尾地域内の障がい者施設、町・自治会などから40名が参加しました。

近年、心身に障がいのある人が社会に進出する機会が多くなり、それを普通に受け入れる雰囲気も定着しつつあります。しかし、災害等非常事態発生時に的確に対応できるでしょうか。この懇談会は、地域で出会う障がい者との関わり方を考えるきっかけとなるようにとの主旨

で進められました。

「心身障害者連絡福祉協議会柏市手をつなぐ育成会」菅井治子さんの司会進行で、冊子「障害者避難時サポートガイド」をもとに、障がいの特性と接し方などの基礎知識を学びました。続いて、障がい者と家族を交えてグループワーキングを行い、日頃から障がい者について感じていることやどう対応すればよいのかなどについて話し合い、理解を深めました。

障がい者の送迎をしている参加者から「障がい者を普通の人と思って接している」との発言があり、これこそ究極の関わり方と感じました。障がいの内容を理解し、それに合わせた関わり方をすることが基本で、そのためには接する機会を多くし、理解を深める努力を惜しまないことが大切でしょう。 地区社協部 大島 金蔵

命を守る地震予知 防災講演会

増尾地域防災強化月間の一環として、当ふる協は、平成29年9月15日(金)に増尾近隣センターで、防災講演会を開催し、91名と多くの方が参加しました。

講師に、日本において地震予知研究で著名な、国立電気通信大学名誉教授、日本地震予知学会会長の早川正士先生を招き、「地震予知から防災・減災を考える」と題して講演をしていただきました。電磁波による地震予知の可能性、それを知ることで日常の心構えや行動に生かして地震災害に備え、減災につなげていくという観点からの、たいへん興味深い話でした。

地震予知に関しては可能かどうかさまざまな意見がありますが、少しでも可能性があれば「自分の命は自分で守る」という意味でも考えておくことが大切だと感じました。 防犯防災部 志水 房夫

ふる協からのお知らせ

平成30年 2月 4日(日) 新春囲碁将棋大会
平成30年 3月 4日(日) 芸能発表大会
※詳細は回覧、チラシなどでお知らせします。

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 田嶋(TEL 7172-4683)まで、お問い合わせください。